

MySQL 5.5.18 リリースノート（日本語翻訳）

機能の追加と変更

- **Advanced GPL** RPM パッケージから **Advanced** RPM パッケージへのアップグレードが機能しなかった。Linux では現在、`rpm -U` を使用して、インストール済みの MySQL 製品を同じリリースファミリの別製品に置き換えることが可能になり、先に `rpm -e` を使用して旧製品を削除する必要はなくなった（Bug #11886309）。

修正されたバグ

- パフォーマンス: **InnoDB ストレージエンジン**: 停止中または以下のステートメントで AHI をオフにするときに、**InnoDB** の **適応ハッシュインデックス** を割り当て解除するプロセスが高速になった。

```
SET GLOBAL innodb_adaptive_hash_index=OFF;
```

（Bug #13006367、Bug #62487）

- 矛盾を含む可能性がある変更: **レプリケーション**: 以下に挙げるステートメントは、ステートメントベースのレプリケーションに対してアンセーフとマークされるようになった。これは、これらのステートメントが常に順序を決定できるとは限らない **SELECT** ステートメントの結果に依存するためである。**STATEMENT** ログモードを使用する場合は、このようなステートメントに対してバイナリログで警告が発生し、**MIXED** ログモードを使用する場合は、行ベース形式を使用してステートメントがログに記録される。

INSERT ... SELECT ... ON DUPLICATE KEY UPDATE

REPLACE ... SELECT

CREATE TABLE ... IGNORE SELECT

CREATE TABLE ... REPLACE SELECT

INSERT IGNORE ... SELECT

UPDATE IGNORE

アップグレードする際には、アプリケーションにおけるこれらのステートメントの使用状況を確認し、[SELECT](#) から取得される行を挿入または置換するステートメントは、ステートメント自体だけを記録するときより、行ベース形式を使用してログを記録するときの方が、バイナリログで何倍ものスペースを占めることに注意することが必要である。これらのステートメントによって選択および挿入（または置換）される行の数とサイズによっては、ステートメントのログをステートメントベースから行ベースに切り替えた後のバイナリログのサイズの違いは、何桁も異なる可能性がある。[15.1.2.1 項 「Advantages and Disadvantages of Statement-Based and Row-Based Replication」](#) を参照（Bug #11758262、Bug #50439）。

- **InnoDB ストレージエンジン:** gcc 4.6.1 の InnoDB ソースコードに影響するコンパイルの問題が修正された。影響を受ける InnoDB ソースファイルは、`btr/btr0cur.c` だった（Bug #13116045）。
- **InnoDB ストレージエンジン:** InnoDB テーブルへの **UPDATE** ステートメントがハングする可能性があった。この問題は、[Barracuda](#) ファイル形式を使用し、[カラムプリフィックス](#) に複数のインデックスを持つテーブルに影響する。カラムプリフィックスの合計サイズがページサイズ（通常は 16KB）より小さい場合でも、[UNDO ログレコード](#) のサイズが [ページサイズ](#) を超える可能性があった。MySQL 5.5 以降では、このエラーが新しいコード **ER_UNDO_RECORD_TOO_BIG** で報告されるようになっている。InnoDB プラグインを使用する MySQL 5.1 の場合、このエラーは既存のコード **ER_TOO_BIG_ROW_SIZE** で報告される（Bug #12547647）。
- **レプリケーション:** マスタ上のバイナリログディスクがいっぱいになった後で、レプリケーションマスタは不完全なイベントをスレーブに送信する可能性があった。この問題を修正するために、現在は完全なイベントのみがマスタダンプスレッドによってスレーブ I/O スレッドにプッシュされるようになっている。また、不完全なイベ

ントが検出されたときにマスタがスレーブに送信するエラーテキストには、マスタでディスクスペースが不足したためにイベントが不完全になったことが記載され、最初と最後のイベントの読み込みバイトの座標が示される (Bug #11747416、Bug #32228)。

参考: Bug #64035、Bug #13593869 も参照。

- テーブルを開くプロセス中に、ビューを使用しないステートメントの場合でも、ビューのロードを必要とするメモリが割り当てられ、後から解放されていた。このような不要な割り当てと解放は現在行われなくなっている (Bug #13116518)。
- 状況によっては、[mysql_plugin](#) が [--plugin-ini](#)、[--mysqld](#)、[--my-print-defaults](#) の各オプションを誤って処理した (Bug #12968815)。
- [mysql_plugin](#) は、エラーになったサーバの再起動から誤ったエラーコードを返していた (Bug #12968567)。
- MySQL のディストリビューションにバンドルされている [libedit](#) ライブラリに対して以下の点が改善され、Windows を除き、MySQL でサポートされるすべてのプラットフォームで利用できるようになった。

UTF-8 入力に対して移動キーが機能しなかった。

キリル文字を使用する UTF-8 入力に対して、Word の移動キーと削除操作が機能しなかった。

UTF-8 入力の上書きモードで非ラテン系文字が文字化けした。

長いクエリが原因で、ステートメント履歴ファイルが破損した。

Alt キーを使用すると履歴操作が失敗した。

(Bug #12605400、Bug #12613725、Bug #12618092、Bug #12624155、Bug #12617651、Bug #12605388)

- [ARCHIVE](#) テーブルに [NULL](#) カラムがあると、同時負荷がかかる際にサーバがクラッシュする、または破損する可能性があった (Bug #51252、Bug #11758979)。

- **myisam use mmap** が有効な場合に、**OPTIMIZE TABLE** によって **MyISAM** テーブルが破損する可能性があった (Bug #49030、Bug #11757032)。
- **GROUP CONCAT()**関数の結果を選択したクエリは、その関数結果の **ORDER BY** が存在するかどうかによって、異なる値を返す可能性があった (Bug #41090、Bug #11750518)。
- **FEDERATED** テーブルで、一部の挿入操作中にリモートテーブルへの接続が失われ、サーバがクラッシュする可能性があった (Bug #34660、Bug #11747970)。

※本翻訳は、理解のための便宜的な訳文として、オラクルが著作権等を保有する英語原文を NRI の責任において翻訳したものであり、変更情報の正本は英語文です。また、翻訳に誤訳等があったとしても、オラクルには一切の責任はありません。